

徳永しげきタイムス

Politics for tomorrow
Shigeki Tokunaga TIMES

自民大勝 改革へ前進!

みなさん こんにちは!

いろんな意味で熱かった今年の夏も過ぎ去り、気がつけば秋。みなさんはこの素晴らしい季節をいかがお過ごしでしょうか。

今回、お手元にお届けさせていた「樹楽会」という二十、三十代の青年達が編集担当し、若い世代の声も活かしたものに出来上がりました。まだまだ硬さの残る「徳永しげきタイムス」ですが、これからも私の活動を中心に、みなさんへ私たちの情熱を伝えるべく、定期的な発刊を考えておりますので、是非、ご一読をお願い申し上げます。

さて、大変お世話になった第四十四回衆議院選挙は、ご案内の通り、自民党の歴史的大勝で終幕致しました。その背景には、小泉総裁の郵政民営化を大きな柱とした政策の「ワンフレーズ・ポリテイクス(極端な単純化)」や粛正行為ともとられかねない郵政反対議員への候補者擁立劇といったマスコミで取りざたされている劇場型政治を巧みに演出したことも大きな要因の一つ

であろうと考えております。

しかし、私たちを取り巻く現実には劇場であつたらと願う程、目を覆いたくなるものばかりです。国、地方ともに巨額の借金を抱え、どう財政を再建していくのか、年金等の社会保障の制度設計をどう構築していくのか、急速に進みつつある少子高齢化対策は? などなど。本当に私たちの暮らしに関わる諸問題は未解決のままであり、その

解決への方向性も見いだしてはまだまだ言い難い状況であります。

改革を断行するのであれば、支持する。

国民の答えは明確でありました。

政府与党には、こうした国民の声を真摯に受け止め、安定政権の下、着実に改革への歩みを進めていただきたいと切に願うものでありますし、これ以上、大都市と地方の間に格差が生じないよう、痛みに耐える地方の政治家の一人として、改革の中身やその方向性に注視して参りたいと考えております。

「徳永しげきを囲む集い」

九月一日(木)、テクスポート今治におきまして、「徳永しげきを囲む集い」が、一六〇名を超すメンバーとともに盛大に開催されました。

まず、主催の『徳永しげき後援会 樹楽会』会長の菅寿雄からご来場の皆様への心からのお礼の挨拶の後、徳永しげきからは、今までの県議としての活動報告、



そして県の現状、県政のこれからのことについてのお話がありました。この間に山本順三参議院議員が到着され、壇上にて挨拶をしていただきました。

そして最後に、村上誠一郎氏のご来場および挨拶に会場は大いに盛り上がりまして、大盛況のなか無事終了しました。

ご来場の皆様には、心より御礼を申し上げます。